

事前評価個表

整理番号	12
------	----

地域（地区）名	伊豆	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	静岡県	対象市町村	しもだ 下田市ほか 10 市町
事業実施期間	R4 年度～R8 年度（5 年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地域は、静岡県東部に位置する伊豆半島の全域で、下田市ほか 4 市 6 町で構成され、中央部に標高 1,406m の万三郎岳を最高峰とする天城山系の山々により半島を二分し、どちらも急峻な地形を形成している。</p> <p>本地域の森林面積は、97 千 ha（森林率 75%）を占め、このうち本計画で対象とする森林は 79 千 ha（森林全体の 81%）、かつて薪炭生産が盛んであったため、広葉樹林とスギ・ヒノキ林の割合がおよそ 5 : 5 となっている。</p> <p>人工林面積の内訳は、Ⅰ～ⅤⅢ 齢級が 10%、ⅠⅩ～ⅩⅡ 齢級が 56%、ⅩⅢ 以上が 34% となっており、伐採適期の人工林が多くを占め、充実した森林資源の活用を図る必要がある。</p> <p>また近年、利用間伐等の推進により森林の整備が進んだ一方で、施業の集約化が進まない地域では、水源涵養機能等の森林の有する多面的機能の低下が危惧される。</p> <p>そのため、成熟したスギ・ヒノキの活用と原木シイタケの生産振興等を通じた広葉樹林の循環利用を推進するとともに、これらの施業を適切に実行する森林認証の取得を促進することで、水源涵養機能等の森林の持つ多面的機能を持続的に発揮させる。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：1,761ha 人工造林、下刈り、除伐、保育間伐、間伐等</p> <p>路網整備：2,406m 林道開設</p> <p>総事業費：1,165,749 千円（税抜き 1,059,772 千円）</p>
費用便益分析結果	<p>$B / C = 4.79$</p> <p>（総便益（B）=5,124,932 千円、総費用（C）=1,069,192 千円）</p>
評価結果	<p>必要性：森林の有する多面的機能の維持・増進を図るためには、本事業により計画的に施業を集約し、森林整備の推進を図る必要があり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析の結果から十分な効率性が認められるとともに、本事業を活用した計画的な森林整備及び路網整備により、施業地の集約化や生産コストの縮減が図られることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：適切な森林整備により水源涵養等の公益的機能が持続的に発揮されるとともに、林道開設により将来の優良材の安定生産が図られることから、事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：静岡県

地域(地区)名：伊豆^{いず}

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	682,014	
	流域貯水便益	275,262	
	水質浄化便益	1,007,451	
山地保全便益	土砂流出防止便益	510,087	
環境保全便益	炭素固定便益	1,467,389	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	413,406	
	木材利用増進便益	25,266	
	木材生産確保・増進便益	460,470	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	283,587	
総 便 益 (B)		5,124,932	
総 費 用 (C)		1,069,192	
費用便益比	$B \div C = \frac{5,124,932}{1,069,192} = 4.79$		

森林環境保全整備事業 伊豆地域（静岡県）概要図



凡例	
計画区界	
事業区域	
森林整備	

